

平成 28 (2016) 年度 事業報告「温故知新パートⅡ～次世代につなぐバトン～」

I 事務局

1. 年度報告

- ・ 社会福祉法人制度改定に伴い、定款の変更をした。
- ・ 平成 29 年度からの法人役員体制を確立した。

2. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会を開催

平成 28 年 5 月 19 日 第 1 回理事会・評議員会：平成 27 年度事業報告決算報告の承認、相談支援計画ソフトの導入の承認

平成 28 年 12 月 8 日 第 2 回理事会・評議員会：法人定款変更の承認、評議員選任・解任委員会の設置及び運営細則の承認、評議員選任・解任委員会の委員候補者の選定

平成 29 年 3 月 23 日 第 3 回理事会・評議員会：平成 29 年度事業計画・予算の承認、役員等の損害賠償責任、評議員選任・解任委員会細則の改定の承認、評議員候補者の選定、理事補充者の承認、就業規則の改定の承認、退職金規程の改定の承認、第 1 回評議員選任・解任委員会：評議員の選定 第 1 回評議員選任・解任委員会：評議員の選任

II ジョイント・ほっと

1. 年度報告

『カフェ運営に利用者が主体的に取り組むことを支援し、売上・福祉収入アップを図る』

『日々の利用者数を増やし、運営を安定させる』

『利用者が安心できる場を作り、楽しい企画をともに行う』

上記計画を立て、運営を行った。新たなシフトの導入、レクリエーション増、出勤の促しなど工夫するものの日々の利用者数は横ばいで目標の 17 名には届かなかった。モチベーションが上がらないための休みを減らし、出勤日以外の利用を増やす視点、そもそもの登録者数増が必要である。

【月別利用者数と開所日数】1 日平均：15.0 人（前年度：15.0 名、前々年度：14.7 名）

【利用状況】登録利用者：34 名

【年齢構成】合計：34 名、平均年齢：46 歳（四捨五入）

【工賃支給状況（月額平均）】12,269 円（平成 29 年 3 月 31 日時点）

2. 利用者支援

(1) 社会生活支援

① 安心できる場所づくり

- ・ 利用者との定期面談に陽なたの相談支援専門員とジョイント・ほっとの現場担当者が参加、本人の希望がサービス等利用計画と個別支援計画により反映するようにした。また、従来定期面談を 9 月と 2 月に実施していたが、陽なたの面談時期に合わせることで面談の回数を減らすもじっくり聴くようにした。
- ・ 行事に利用者が参加しやすい雰囲気づくりを行い、より豊富な余暇活動の選択肢を提示した。

② 目標に向かって働ける場所づくり

- ・ 仕込みシフト、在庫チェック、発注など利用者の個性に合わせた仕事を増やした。
- ・ 目標工賃（13,000 円）は達成できなかった。より働いて工賃増を目指す利用者と自分のペースで働きたい利用者に分かれる。再度、利用者のニーズを整理しジョイント・ほっとが目指す働き方を全体で共有したい。

③ 研修

- ・ 必修研修：衛生研修（7 月）、防災研修（11・3 月）、年度末研修（3 月）
- ・ 任意研修：すてき熟（5・6・7・10・11・1・2 月）

④ 余暇支援

- ・ ほっと・ヴォイス（合唱）、パソコン同好会、チクチク隊（縫製作業）、料理教室
- ・ 季節ごとのレクリエーション：暑気払い（8/12）、旅行会（11/15）、忘年会（12/28）、新年会（1/4）

⑤ 一般就労支援

- ・ 1名が就労移行支援事業の利用に至った。

⑥ 新規利用者受入

- ・ 3名を新規に受け入れた。現在の待機は5名。申込後早期に利用できる受入体制を整える必要がある。

(2) 働く場

① カフェの運営、製菓工房

● 寺町店：（月）～（土）週6日 10:00～14:30 営業

- ・ 営業時間を短縮して閉店後に利用者とスタッフがマンツーマンでかわり、複数の利用者の調理技術が向上した。個別性を意識して声かけをすることにより、作業に取り組める利用者が徐々に現れてきている。
- ・ あらしやま店の食材を仕込むセントラルキッチン化は一定達成できた。

● あらしやま店：（水）～（月）週6日 10:00～16:30 営業

- ・ 年度途中から『ステップアップする場』から『より多くの利用者が働ける場』へと位置づけを変化した。
- ・ 売上増のため、定番メニュー4～5品と季節や月ごとに展開する限定メニューを提供したが、行程が多種複雑になるため、利用者にとどの部分の役割を担ってもらうかが課題となった。

② 製菓

- ・ 利用者のペースに合わせたスキルアップを目指した。やり遂げる責任感や意欲など気持ちの成長もあった。
- ・ レシピを皆が理解できるよう作り直し、製菓指導方法の統一を目指した。

③ 事務・デザインユニット

- ・ 喫茶・工賃関連事務、ブログ管理、メルマガ・広報誌関係メニュー表・レシピ入力

④ 渉外ユニット

- ・ 公機関・企業で定期的に販売・納入：下京保健センター、下京区社会福祉協議会、いわくら病院カフェイマジン、中京保健センター、京都民医連第二中央病院、ウエノ診療所、(株)ワコール、(株)NS シェアードサービス、(株)ニッセン、(株)ホリバコミュニティ 他
- ・ 出張喫茶：洛東園、下京区社会福祉協議会、下京民生児童委員会、下京老人福祉センター
- ・ スポットのイベント：出張先で喫茶・販売をした。
- ・ 講演活動等への参加：各大学や、民生児童委員会、学会、下京ネットワーク地域懇談会など
- ・ 事業所見学者の案内説明

⑤ 洗濯ユニット

- ・ カフェ・製菓に従事する者の制服を選択した。

⑥ 清掃ユニット

- ・ 内部…準備シフト・クリーンシフト・健光園あらしやま店
- ・ 外部…コミュニティーサロンふう・個人宅・お寺・コインパーキング・町家ホテル

⑦ サブワーク、チェックインアウト

- ・ 仕事内容：箸帯作り、箸袋シール貼り、茶葉小分け、ポイントカード作成、菓子袋のシール貼り、弁当箱ふたのシール貼り、人形店のタグ作り・朱印押し、開智子供神輿の襷・手ぬぐい作成、広報誌発送作業、栗の皮むき

3. 家族

- ・ 学習会（5月・11月）、新年会（平成29年2月）、新年会、個別家族相談、家族通信「おほほほ」の発行

4. 地域との交流

開智学区社会福祉協議会と連携を図り、学区の集いの弁当配達、高齢者サロンの店舗利用、「下京区ふれ愛ひろば」等の販売など各種行事にかかわった。また、地域の行事（地藏盆、開智子供神輿、開智夏祭り、運動会、懇親会）に積極的に参加した。街中でお声かけいただくことが増えており、つながりの深まりを実感する。

5. 啓発、広報活動

- ・ 広報誌「てりてり」の発行（5月・8月・1月）
- ・ メルマガ発信（毎月初旬）
- ・ 学びのための学生ボランティア、ワーキング支援の社会人ボランティア受け入れ
- ・ 実習生受け入れ（京都府立大学、京都ノートルダム女子大学、種智院大学、佛教大学、龍谷大学、京都医療福祉専門学校など）
- ・ イベント・講演会での利用者の体験発表の機会を設けた。
- ・ 加盟している京都精神保健福祉施設協議会を通じて府や市に対し福祉の充実を訴える要望書を提出した。

6. スタッフに関する事項

- ・ 新スタッフを雇用し、来るべき世代交代の準備を進めた。
- ・ 職員会議（第1・3（火）17:30～19:30）、生活支援員会議（第2・4（火）17:30～20:00）、職業指導員会議（第4（月）18:30～20:00）、部門別会議（3ヶ月に1回）
- ・ スタッフ研修：所内4回（「精神疾患の理解」「スタッフの笑顔が、利用者を元気にする」「障害者虐待について、権利擁護の視点から」「法人経営の在り方」）、外部各種。

III 陽なた

1. 年度報告

福祉サービス等受給者証の更新・モニタリング・請求と細かな事務量が増大する状況を受け、年度途中から増員した。また、助成金を活用して計画相談支援システム（パソコンソフト）を導入、円滑に行えるシステムを整えた。

2. 活動

- ・ 福祉サービス等利用計画、モニタリングを作成した。計画に基づき、個々の利用者が自身の生活を主体的に取り組むことを支援した。
- ・ 計画作成、モニタリングを行うにあたり、生活相談、家庭訪問等を随時行った。
- ・ 医療、行政、他の福祉サービス等との連携を強化した。これまでつながりのなかった新たな資源を開拓した。

IV サロンふう

1. 年度報告

6月末でジョイント・ほっと店舗に移転した。移転後は「コミュニティーサロンふう」と改称し、7月に部分的に開所、8月から正式に開所した。

2. 活動

喫茶（開所日は毎日）、生活相談（月2回）の他、随時イベントを行った。